

環境経営レポート

Environmental Management Report



活動期間：2025年4月～2026年3月

東海理化エレテック株式会社

目次

1. はじめに	- - - - -	2ページ
2. 会社概要	- - - - -	2ページ
3. 沿革	- - - - -	2ページ
4. 対象範囲	- - - - -	2ページ
5. 環境経営方針	- - - - -	3ページ
6. 活動組織	- - - - -	4ページ
7. 役割責任と権限	- - - - -	4ページ
8. 環境関連法規の順守状況	- - - - -	5ページ
9. 環境経営目標	- - - - -	6ページ
10. 環境経営計画への取り組み内容	- - - - -	7ページ
11. 環境活動の実績と取り組み活動結果（2025年度）		
◇ 二酸化炭素 排出量	- - - - -	8ページ
◇ 産業廃棄物 排出量	- - - - -	9ページ
◇ 水 使用量	- - - - -	10ページ
◇ 化学物質 使用量		
◇ 工程内廃却不良品		
◇ 製品の環境性能の向上及びサービスの改善		
12. 具体的な取り組み活動	- - - - -	11ページ
13. 今後の取り組み活動	- - - - -	12ページ
14. 代表者による全体評価・見直し・指示・総括	- - - - -	13ページ
15. 添付資料：環境データ	- - - - -	14ページ

1. はじめに

当社は、自動車産業が地球環境に及ぼす影響を認識し、その負荷低減のため、二酸化炭素排出量の削減、エネルギー資源使用量の削減等に挑戦し、「環境に優しい」心地良い社会の実現をテーマに全社員が責任を持って行動します。具体的には、環境省が推薦するエコアクション21の基準に則り、環境経営マネジメントシステムの構築・運用に全社一丸となって取り組んでおります。以下に、当社における環境経営レポートを紹介します。

2. 会社概要

- (1) 会社名 東海理化工レテック株式会社
- (2) 設立 1989年12月
- (3) 資本金 9,000万円（株式会社 東海理化 100%出資）
- (4) 本社所在地 〒441-0201 豊川市萩町中山1-3
TEL (0533)88-6195 FAX (0533)88-6941
- (5) 代表取締役社長 近藤 善博
- (6) 社員数 231名（2026年3月31日現在）
- (7) 事業の内容 自動車部品、産業車両部品、住宅用部品の組み立て
《 主な生産品目 》
 - ・シフトレバー関連部品
 - ・スマート&スタートS/W関連部品
 - ・電子部品実装基板
- (8) 事業の規模 売上高 7,916百万円（2025年度）
- (9) エコアクション21対象事業所
本社・萩工場 〒441-0201 豊川市萩町中山1-3
TEL (0533)88-6195 FAX (0533)88-6941
豊川工場 〒442-0844 豊川市小田渚町5丁目3番地の16

3. 沿革

1989年12月	（株）豊賀設立（豊橋・伊賀）	資本金 30百万円
1994年 5月	豊川工場開設	資本金 230百万円
1998年 5月	多米工場開設	
1998年10月	本社移転（豊橋⇒豊川）	
2003年 2月	ISO9001認証取得	
2004年 7月	資本金を90百万円に減資	
2007年 4月	伊賀工場を閉鎖	
2008年 7月	東海理化工レテック株式会社に社名変更	
2009年 7月	東海理化工レテック株式会社萩工場での生産開始	
2010年 1月	多米工場を閉鎖	
2017年10月	エコアクション21認証取得	
2025年 2月	本社移転（豊川⇒萩）	

4. 対象範囲

- (1) 対象期間 2025年4月1日～2026年3月31日
- (2) 発行日 2026年7月17日
- (3) 対象範囲 範囲は、全組織・全活動を対象としてE A 2 1に取り組み、環境経営システムを構築、運用、維持する。

5. 環境経営方針

環境への取り組みについて

東海理化工レテック株式会社

経営理念

1. お客様に喜ばれる商品を創造し、豊かな社会づくりに貢献する。
2. 個性とチャレンジ精神を尊重し、若さと夢あふれた企業をめざす。
3. 社会の一員として、法と倫理を順守し自然・地域と共生する企業をめざす。

社員行動指針

【自然環境に対する姿勢と地域社会への貢献】

経営理念に基づき、社員は会社と一体となって自然保護と社会活動に貢献します。

環境経営スローガン

人と車の調和をめざし、企業活動に伴う環境負荷の低減を図ります。

環境経営方針

制定日 2017年5月31日
改訂日 2022年6月28日

1. 法令順守の徹底と内部統制の強化に努めます。
2. 製品の環境負荷の低減化を取り組みます。
3. 事業活動において使用する電力の省エネルギー推進で二酸化炭素排出削減に努めます。
4. 事業活動において使用する水使用量の削減に取り組みます。
5. 産業廃棄物・工程内不良廃却品の減量化及び分別・リサイクル率の向上と、資源の再利用に取り組みます。
6. 事業活動において使用する化学物質の適正な管理及び使用量削減に取り組みます。
7. 地域のニーズに応じた環境保全・生物多様性保全に取り組みます。
8. 環境経営における課題とチャンスを考慮して目標を定め、達成するための計画を策定します。
また、定期的に計画を見直すことにより、継続的な改善を行います。
9. 環境経営レポートを公表し、全社で環境コミュニケーションを深めることに取り組みます。

代表取締役社長

近藤善博

6. 活動組織



7. 役割責任と権限

代表者（社長）	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等の準備 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 - 環境経営目標・環境活動推進計画書を承認 - 代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 - 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境関連法規等の取りまとめを承認 - 環境経営目標、環境活動推進計画書を確認 - 環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告 - 環境経営レポートの確認 - 監査結果及び是正措置等の代表者への報告
事務局	- 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 の推進 - 環境負荷及び環境への取り組みの自己チェックの実施 - 環境経営目標、環境活動推進計画書原案の作成 - 環境経営活動の実績集計 - 環境関連法規等取りまとめ表の作成 - 環境関連法規等取りまとめ表に基づく順守評価の実施 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 環境経営レポートの作成、公開
所属長	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を所属員へ周知 - 方針に基づき自部署の環境経営活動を所属員へ周知
全従業員	- 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

8. 環境関連法規の順守状況

法規制順守の徹底（順守状況の定期評価、環境苦情の撲滅）をしております。今年度の順守状況を下記に示しています。

《 法 規 制 一 覧 表 》

No.	法規制	該当工場		設備・ 指定物質例	主な規制内容	順守状況 (○×)	備考 (実施頻度など)
		豊川	萩				
1	電気事業法	●	-	受変電	・保安規定届出書、保安規定変更届出書 ・変電設備の点検・記録	○	都度 1回/2ヶ月
2	騒音規制法 県民の生活環境の 保全等に関する条例	●	●	コンプレッサー せん断機 成形機	・騒音の防止の方法変更届出書 ・特定施設の種類の数変更届出書 ・特定施設使用全廃届出書 ・氏名変更届出書 ・騒音規制基準測定	○	都度 都度 都度 都度 1回/年
3	振動規制法 県民の生活環境の 保全等に関する条例	●	●	コンプレッサー せん断機 成形機	・振動の防止の方法変更届出書 ・特定施設の種類の及び能力毎の変更届出書 ・特定施設使用全廃届出書 ・氏名変更届出書 ・振動規制基準測定	○	都度 都度 都度 都度 1回/年
4	産業廃棄物 処理法 廃棄物の適正な処理 の促進に関する条例	●	●	産業廃棄物	・特管産廃管理責任者の選任 ・委託業者の確認 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○	都度 1回/年 1回/年
5	フロン 排出抑制法	●	●	第一種 特定製品	・第一種特定製品の簡易点検・記録簿保存 ・第一種特定製品の定期点検 (定格出力7.5KW以上対象) ・回付を受けた証明書の保存管理	○	4回/年 1回/3年 都度
6	高圧ガス 保安法	-	●	CEタンク 液化窒素	・日常点検 ・定期点検	○	3回/日 2回/年
7	電波法	●	●	高周波 利用設備	・高周波利用設備許可申請書 ・高周波利用設備変更許可申請書	○	都度 都度
8	有機溶剤中毒 予防規則	●	●	例：洗浄槽	・作業主任者の選任 ・作業環境測定 ・排気換気装置の自主検査 ・特殊健康診断の実施	○	都度 2回/年 1回/月 2回/年
9	消防法 豊川市火災予防条例	●	●	例：消火器 例：油	・消防用設備等の点検 ・少量危険物の取扱・保管届出 ・消防訓練の届出	○	2回/年 都度 都度
10	労働安全衛生法 ※1	●	●	機械設備	・機械等の設置・移転・変更の届出	○	都度
11	PRTR法	●	●	例：鉛フリー はんだ	・PRTR制度より対象含有物の 排出移動量の届出（1t以上/年）	非該当 (1t未満)	都度
12	毒劇法	-	●	パレクリン	・規制に基づいた適正な保管	○	都度
13	プラスチック 資源循環促進法	●	●	プラスチック 使用製品	・産業廃棄物等の適正処理、積極的な排出 抑制、再資源化	○	都度
14	下水道法	●	-	下水道	・事故発生時下水道管理者への届出	○	都度

●は法規制該当工場

環境関連法規制等の順守状況の評価を行い、順守していることを確認しました。
外部・近隣住民からの苦情・訴訟、関係機関からの違反の指摘及び改善の指示は過去ありません。

※1 「機械等の設置・移転・変更の届出」を届出遅延したが、後日、早急に届出

9. 環境経営目標

当社では、環境省が推進する「エコアクション21」に基づく環境活動の実施体制を構築し、また具体的な数値目標を記した環境負荷低減目標を策定し、その達成に取り組んでいます。尚、2025年度活動計画/目標は2025年4月1日～2026年3月31日の活動期間内です。

《 中 長 期 目 標 》

No.	主な活動	具体的な 取り組み事項	基準値	2025年度 目標	2026年度 目標	2027年度 目標
1	地球温暖化防止	二酸化炭素発生量低減 (電力量+化石燃料)	※1 338.4 t-CO ₂ ※2019年度実績値	※2・3 280.4 t-CO ₂	※2・3 279.2 t-CO ₂	※2・3 271.7 t-CO ₂
2	産業廃棄物 排出量低減	産業廃棄物排出量低減 リサイクル物への分別	13.0t ※2024年度実績値	14.1t	14.7t	※3 13.6t
3	水使用量低減 (豊川工場のみ)	水使用量低減 節水活動の推進	75.1m ³ ※2024年度実績値	※3 7.0m ³	※3 0.6m ³	※3
4	化学物質 管理・低減	使用量低減	使用量の低減(目標:前年度実績以下)			
5	工程内不良廃却品 低減	工程内不良廃却金額の 低減	'前年度実績 以下	'24年度実績 以下	'25年度実績 以下	'26年度実績 以下

※1 中部電力㈱が使用している二酸化炭素換算表の調整後排出係数0.388kg-CO₂/kWhを電力量に乗じて算出

※2 中部電力㈱が使用している二酸化炭素換算表の調整後排出係数0.421kg-CO₂/kWhを電力量、
2.32kg-CO₂/Lをガソリン量、2.58kg-CO₂/Lを軽油量に乗じて算出

※3 豊川工場売却(2026年7月末)による生産量減を見込み、目標値を見直し

10. 環境経営計画への取り組み内容

当社では、取り組み項目及び目標を達成する為に環境経営計画を策定し、実施しております。
尚、2025年度活動計画/目標は2025年4月1日～2026年3月31日の活動期間内です。

No.	項目	主な実施事項	日程・頻度	責任担当部署	実施状況	評価 (○×)
1	環境関連法規の順守	計画書に基づく法令順守	環境活動 推進計画	事務局・各部	詳細はP5に記載	○
2	地球温暖化防止 (二酸化炭素発生量低減) (電力量+化石燃料)	・省エネ改善事例報告 (設備稼働時間低減等) ・省エネパトロール	1回/月	各部	・各部改善…改善件数：9件 (詳細はP11に記載) ・計画月にパトロール実施 …各点検時の指摘事項対応済	○
3	産業廃棄物 排出量低減	・省エネ改善事例報告 (廃棄量低減・有価引取等) ・総量低減活動の継続実施	都度	各部	・各部改善…改善件数：1件 ・各部にて都度実施	○
4	水使用量低減	節水活動の継続実施	都度	各部	・各部にて都度実施	○
5	化学物質 管理・低減	物質の管理、量把握、量低減	都度	各部	・化学物質使用量の把握、 副資材一覧表の作成・更新 ・溶剤購入・更新時のSDS取得 ・有機溶剤から水溶性洗浄液 への入替検討	○
6	工程内不良廃却品 低減	工程内不良廃却金額の低減	都度	品質管理部	品質会議での質疑・検討 …1回/月 開催	○
7	環境マネジメント システムの充実	社内会議開催	1回/月	事務局・各部	詳細はP11に記載	○
		東海理化 生産環境委員会 への参加	2回/年	事務局	2025年度に開催された 連絡会(全4回)への参加	○
8	環境リスク 未然防止活動	・緊急連絡網定期見直し ・環境リスク点検 ・溶剤管理 ・緊急対応訓練 ・分電盤点検	3回/年 1回/年 1回/年 1回/年 1回/年	事務局 事務局・生産部 事務局・生産部 事務局・各部 事務局	計画月に点検・訓練実施 …各点検時の指摘事項対応済	○
9	環境実践活動	・クールビズ活動 ・ウォームビズ活動 ・アイドリングストップ活動 ・空調機フィルター清掃 ・紙使用量低減活動	環境活動 推進計画	各部	詳細はP11に記載 【紙使用量低減】 各部改善…改善件数：2件	○
10	環境学習	・環境危険予知訓練 ・環境クイズ ・環境啓発動画の配信 他	6月 (1回/年)	各部	詳細はP11に記載	○
11	生物多様性 取り組み活動 ※東海理化グループ会社 目標：独自活動1件以上/年	会社周辺の 特定外来生物駆除活動	5月 (1回/年)	各部	詳細はP11に記載	○
		環境出張講座への参加	8月 (1回/年)			○
		河川敷清掃への参加	10月 (1回/年)			×
		会社周辺の清掃活動 (豊川市アダプトプログラム 事業への参加登録)	1回/月			○
12	製品の環境性能の向上 及び サービスの改善	建屋/設備更新時の 省エネ設備への切替	都度	各部	各部にて都度実施	○

1 1. 環境活動の実績と取り組み活動結果（2025年度）

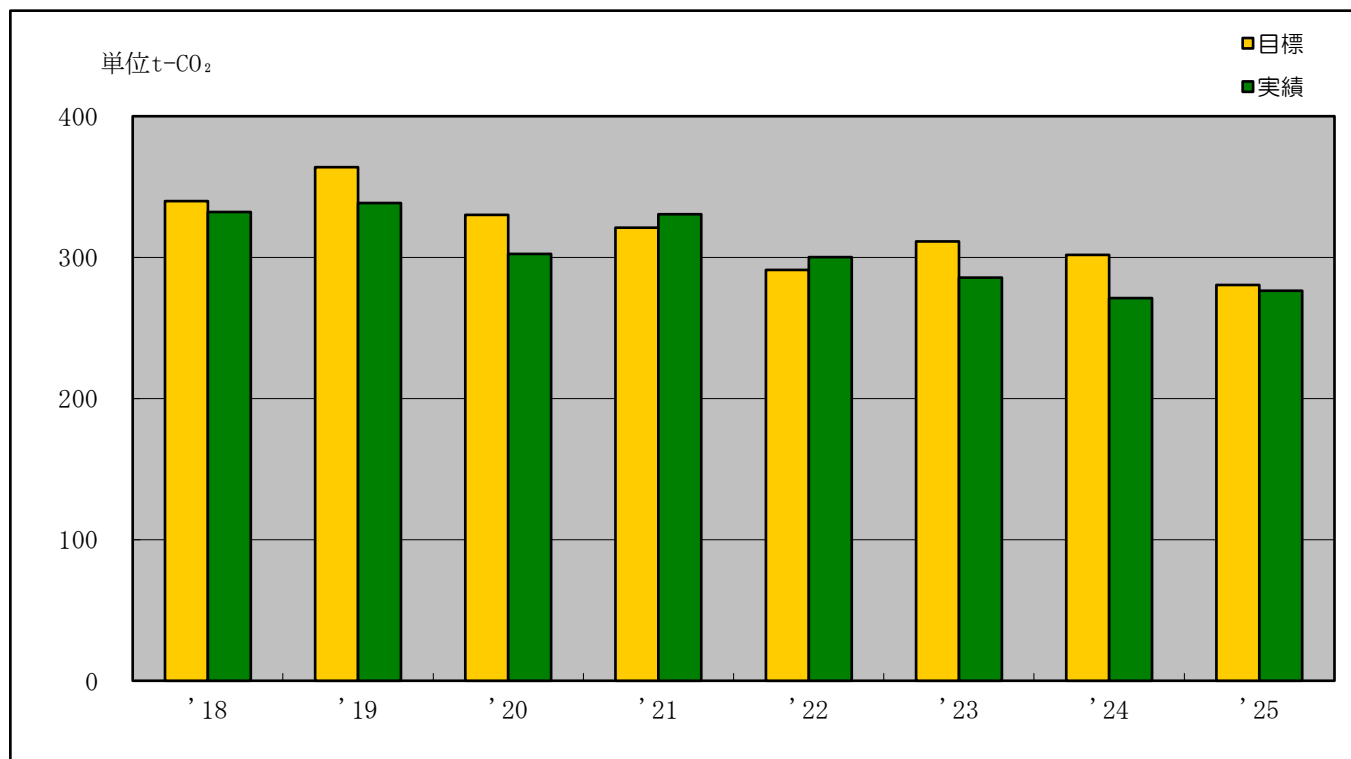
二酸化炭素 排出量

※実数値は、P14に掲載しております。

総排出量

評価：○ 目標： 280.4 t-CO₂

実績： 276.3 t-CO₂



主な活動

【電力使用量の削減】

- ・新設組立ラインのエアレス化
- ・休憩時の設備電源OFFによる電力量削減
- ・基板クリーナーの集塵機の常時運転廃止

【化石燃料の削減】

- ・工場統合による社有車保有台数減（1台減）、社有車による工場間出張の減少（約6割減）
- ・エコドライブ（アイドリングストップ）の実施
- ・ハイブリッド型の社有車利用（13台中11台利用）

※詳細はP11に記載

1 1. 環境活動の実績と取り組み活動結果（2025年度）

産業廃棄物 排出量

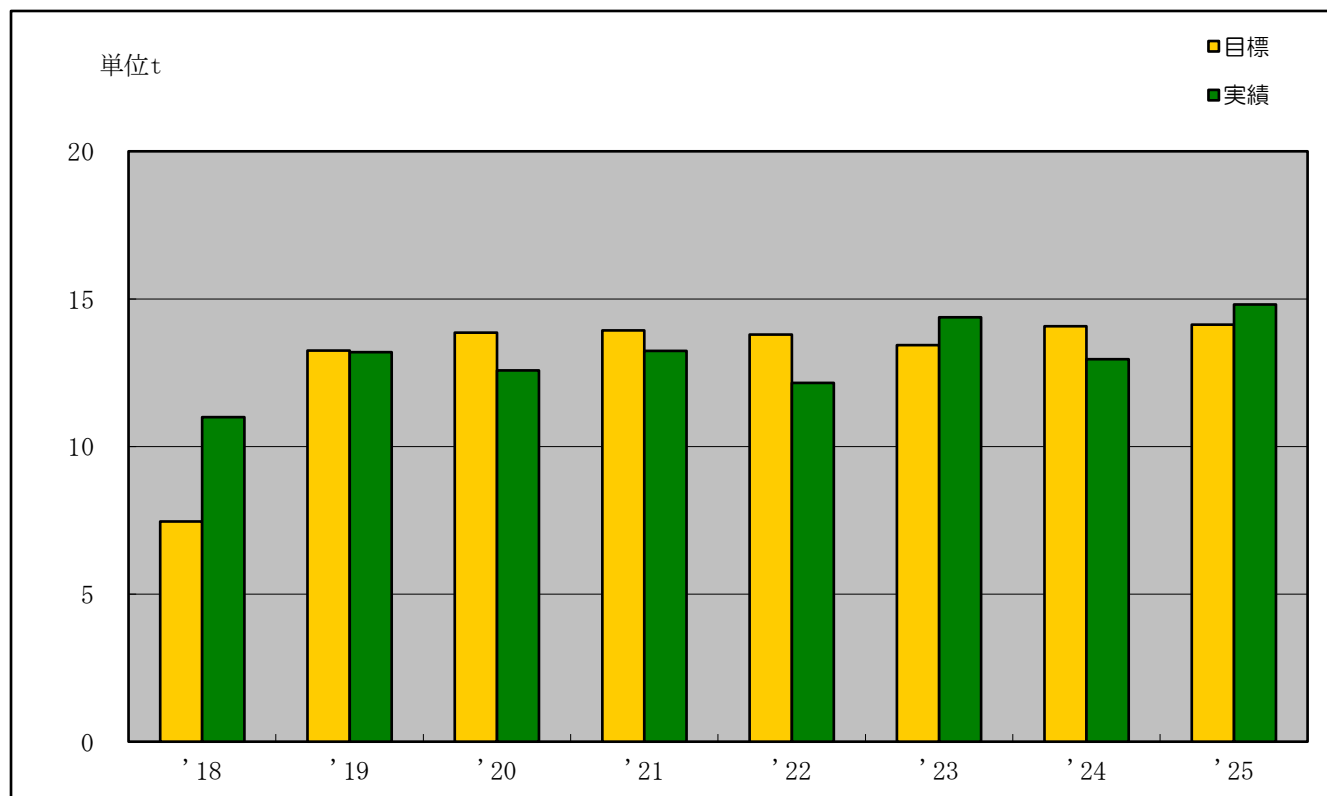
※実数値は、P14に掲載してあります。

総排出量

評価：×

目標： 14.1 t

実績： 14.8 t



主な活動

【産業廃棄物排出量の削減】

- 産業廃棄物、リサイクル物の分別

…不要になった生産設備、パソコン本体、キーボード類も
リサイクル物として排出

※詳細はP13に記載

1 1. 環境活動の実績と取り組み活動結果（2025年度）

水 使用量

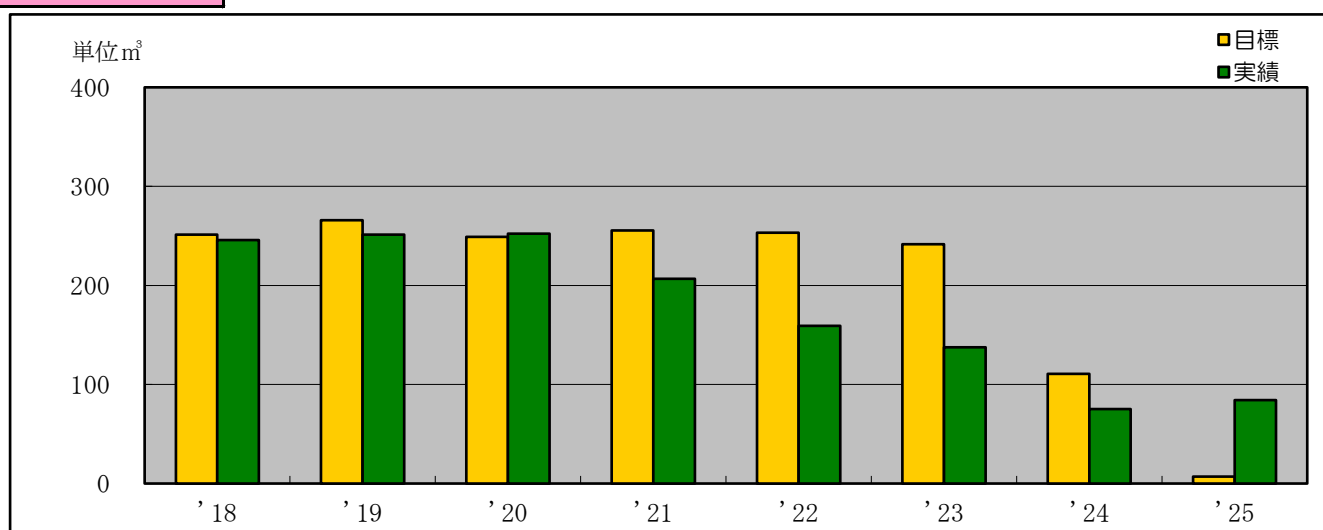
※実数値は、P14に掲載しております。

総使用量
(豊川工場)

評価：×

目標： 7.0 m³

実績： 84.4 m³



主な活動

【水 使用量の削減】

- ・ 豊川工場、萩工場統合による大幅な使用量低減
- ・ 手洗場蛇口の自動水栓化による使用量低減
- ・ 工場内水漏れ点検（水漏れ箇所は都度修理対応）

※詳細はP13に記載

化学物質 使用量

総使用量

評価：○

目標： 24年度実績
以下

実績： 達成（対目標達成率1,064%）

工程内不良品 廃却金額

廃却金額

評価：×

目標： 24年度実績
以下

実績： 未達（対目標達成率67.8%）

製品の環境性能の向上及びサービスの改善

改善件数

評価：○

計画： 省エネ型設備への更新
設備稼働時間短縮

実績： 9件実施

12. 具体的な取り組み活動

環境活動推進委員会の開催

毎月1回 環境活動推進委員会（管理職以上が出席）を開催
環境負荷低減活動や数値データの分析をしています。
尚、各委員会の会議では、モニターを使用して
ペーパーレスで実施しています。



環境活動の推進

環境活動の一環として、様々な取り組みをしています。

①豊川工場、萩工場統合による低減

- …①生産・間接電力低減、②化石燃料低減、
③産廃量低減 ④水使用量低減

②クールビズ、ウォームビズ活動の実施

【クールビズ】

③省エネパトロール活動の実施（4回/年）

- …設備エアー漏れの点検・不具合箇所
に対する改善100%



④アイドリングストップ活動の実施

- …社有車/私有車での駐車車時に実践

【環境ニュース】

⑤空調機フィルターの清掃（1回/4半期）

- …空調機の効率稼働



⑥環境ニュースの配信

- …全員参加への意識向上のため、
社内活動を纏めた環境ニュースを社内展開

⑦環境学習の実施

- …環境危険予知訓練（環境KYT）、環境に関する
クイズなどを環境学習の一環として全社員実施

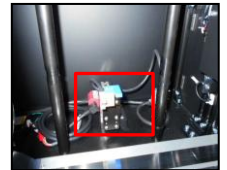
主な省エネ改善事例

①新設組立ラインのエアーレス化（技術部）

エアーシリンダをやめ、ロボシリンダへの変更による削減

【月間削減消費電力量：576kWh/月】

【エアーレス化】
使用時間・消費電力
16H/日・0.6kW⇒0H/日・0kW



②休憩時の設備電源OFFによる電力量削減（生産部）

1ラインにつき扇風機2台・かしめ機1台の電源を
OFFにする仕組みに変更

【月間削減消費電力量：182kWh/月】

【設備OFF】
使用時間・消費電力
1.5H/日・0.6kW⇒0H/日・0kW



③基板クリーナーの集塵機の常時運転廃止（技術部）

装置内に1分以上基板が投入されない場合に
集塵機の運転を停止する仕組みに変更

【月間削減消費電力量：128kWh/月】

【集塵機】
使用時間
16H/日⇒14H/日



主な生物多様性保全に関する取り組み

①会社周辺の特定外来生物駆除活動（2025年5月21日）

◇特定外来生物オオキンケイギク駆除

- …生態系に重大な影響を及ぼす可能性がある植物として、
オオキンケイギクを駆除・枯死

【オオキンケイギク駆除の様子】



②環境出前講座への参加（2025年8月21日・22日）

- …社員が豊川市職員と共に各児童クラブ（小学生など）へ
「省エネ」出張講座を実施

【児童への説明】



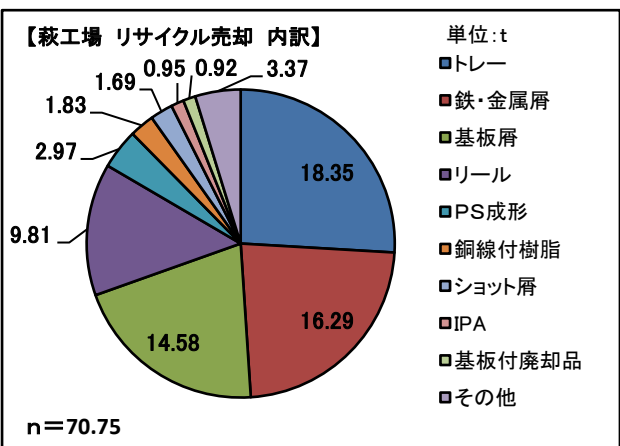
【実験の様子】



リサイクル売却の推進活動

2025年度リサイクル売却結果

・年間で計70.75 tをリサイクル売却



13. 今後の取り組み活動

中長期目標に基づいた2026年度環境経営目標及び環境経営計画を
推し進めていきます。

2026年度 環境経営目標・環境経営計画

No.	項目	年間目標値/頻度	取り組み事項
1	環境関連法規の順守	環境活動推進計画	・年間計画書に基づく確実な法令順守
2	地球温暖化防止 (二酸化炭素発生量低減) (電力量+化石燃料)	279.2 t-CO ₂	・工程ライン削減・時間短縮による電力量削減 ・省エネ活動の継続 (パトロールによるムダ抑制、省エネ設備への更新) ・エコドライブ(アイドリングストップ)の継続
3	産業廃棄物排出量低減	14.7t	・部品梱包材の排出量低減実施 ・総量低減活動の継続 (新リサイクル品検討、リサイクル品との分別)
4	水使用量低減	0.6m ³	・特になし(豊川工場売却(2026年7月末))
5	化学物質管理・低減	25年度実績以下	・化学物質使用量の把握、低減活動の継続、 引火性溶剤から水溶性溶剤への切替 ・副資材一覧表の作成・更新
6	工程内不良廃却品低減	25年度実績以下	・工程内不良廃却品の低減活動の継続
7	環境マネジメントシステムの 充実	1回/月	・環境活動推進委員会の開催
8	環境リスク未然防止活動	環境活動推進計画	・年間計画書に基づく未然防止活動の継続 (環境リスク点検、緊急対応訓練、 環境負荷物質管理、分電盤点検)
9	環境実践活動	環境活動推進計画	・年間計画書に基づく実践活動の継続 (クールビズ/ウォームビズ活動、 空調設備フィルター清掃)
10	環境学習	1回/年	・管理職/全従業員向けの環境学習を実施 (環境学習動画の配信、 環境学習クイズの実施展開)
11	生物多様性取り組み活動	各1回/年	・取り組み活動の継続 (特定外来生物駆除、河川敷清掃活動、 地域清掃活動)
12	製品の環境性能の向上及び サービスの改善	都度	・省エネ型設備への更新、設備稼働時間低減

14. 代表者による全体評価・見直し・指示・総括

《 全体評価 》

実施日：2026年7月16日（木）

No.	項目	報告事項	代表者による評価
1	環境関連法規順守	「機械等を設置・移転・変更をする際の届出」を届出遅延したが、後日に届出 今後は対象漏れが無い様に順法実施計画表に反映し、毎月対象がないか確認 ⇒その他の項目は環境活動推進計画表、順法実施確認表により、確実に順守済	定期的に法規の改正情報・順守状況を確認して、計画通りに対応すること
2	環境経営目標及び目標達成状況	「産業廃棄物排出量」は豊川工場内片付け時に発生する不要物が年間目標値を大幅に上回る廃棄物があり、未達 「水使用量」は①小便器不具合、②受水槽配管の破裂・漏水により未達 次年度は豊川工場閉鎖を見込み、目標値を見直し ⇒その他の項目は目標に対して達成	目標達成状況の定期確認及び超過の場合は要因解析と対策を行うこと
3	環境経営計画及び取り組み実施状況	計画通りに取り組み実施	社員に対し活動への理解を進め、参加しやすい体制を図ること
4	環境異常・環境ヒヤリの発生状況	異常・ヒヤリ発生なし	異常・ヒヤリが発生した場合、迅速な処置対応及び連絡網を活用し、情報共有と社内外への迅速な対応を図ること
5	外部からの環境に関する苦情や要望	関係各機関からの苦情・要望・指導・訴訟なし	外部からの苦情等があった場合には遅滞なく対応し、社内関係者で情報を共有し、適正な処置を行うこと
6	内部環境監査の実施及びその是正	事務局（企画管理部）2点の指摘事項があり、主管部署にて改善実施対応済	指摘を受けた被監査部署は再発防止に努めると共に他部は情報共有すること

《 見直し・指示 》

No.	項目	見直し事項及び指示事項
1	環境経営スローガン 環境経営方針	変更の必要はないと判断します。
2	環境経営目標 環境経営計画	工場統合後を考慮し、中長期目標値を見直し、次年度の目標を立案すること。
3	実施体制	変更の必要はないと判断します。

《 総括 》

2025年度の環境活動については、一部項目で目標未達になりました。
2026年度は、豊川工場がなくなり、萩工場一極生産となるので、社員全員が省エネ活動の重要性を理解し、将来の心地良い暮らしの為に、推進していきましょう。
また生産負荷の影響もありますので、この変化を分析して、活動していきましょう。

15. 添付資料：環境データ

P8～P10の環境グラフの数値になります。

◇ 二酸化炭素 排出量 (P8 記載)								
総排出量	(tCO ₂)							
年 度	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25
目 標	340.0	363.8	330.1	320.9	291.2	311.2	301.7	280.4
実 績	332.1	338.4	302.4	330.6	300.2	285.6	271.2	276.3

◇ 産業廃棄物 排出量 (P9 記載)								
総排出量	(t)							
年 度	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25
目 標	7.5	13.3	13.9	13.9	13.8	13.4	14.1	14.1
実 績	11.0	13.2	12.6	13.2	12.2	14.4	13.0	14.8

◇ 水 使用量 (P10 記載)								
総使用量	(m ³)							
年 度	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25
目 標	251.4	266.0	249.0	255.6	253.1	241.5	110.8	7.0
実 績	245.8	251.4	252.4	206.6	159.1	137.6	75.1	84.4



東海理化工レテック株式会社

発行 2026年7月17日

東海理化工レテック株式会社 環境活動推進委員会 事務局

〒441-0201 愛知県豊川市萩町中山1-3

電話 (0533)88-6195

FAX (0533)88-6941